



2007年9月19日

各 位

会 社 名	新日鉱ホールディングス株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 高萩光紀
コード番号	5016
問 合 せ 先	取締役総務グループ総務担当 八 牧 暢 行
電 話	03 - 5573 - 5129

当社連結子会社と出光興産株式会社との中京地区における連携強化について

当社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目、社長：高萩光紀）の連結子会社である株式会社ジャパンエナジー（本社：東京都港区虎ノ門二丁目、社長：松下功夫）は、この度、出光興産株式会社（本社：東京都千代田区丸の内三丁目、社長：天坊昭彦）との間で、中京地区における両社製油所の連携強化に向けて、具体的な検討を開始することといたしましたので、別添の通りお知らせいたします。

以 上

2007年9月19日

記者各位

出光興産株式会社
株式会社ジャパンエナジー

中京地区における連携強化について

1. 出光興産株式会社（本社：東京都千代田区丸の内三丁目，社長：天坊昭彦，以下「出光興産」）と株式会社ジャパンエナジー（本社：東京都港区虎ノ門二丁目，社長：松下功夫，以下「Jエナジー」）は，今般，各々の競争力を高めるため，中京地区における両社製油所の連携強化に向けて，具体的な検討を開始することといたしました。
2. 中京地区における両社製油所（出光興産：愛知製油所，Jエナジー：知多製油所）は，近隣関係にあることから，従来より両社共同出資の伊勢湾シーバース株式会社（本社：愛知県知多市，社長：古川重俊）を通じて，原油受入設備を共有化しております。
3. しかしながら，将来の石油製品需要構造の変化等を踏まえ，厳しさを増す市場環境の中で勝ち残っていくためには，両製油所間の連携強化が不可欠と判断し，製品・半製品の融通拡大，遊休製品タンク等の有効利用および定期修理時の相互協力等について，検討を行うことといたしました。
4. 今後，両社は，連携強化に向けた具体的検討のための委員会を設け，鋭意検討を進めてまいります。また，両社の競争力強化につながる案件は中京地区に限定することなく適宜検討してまいります。

以上

【参考資料】中京地区の両社製油所の概要

本件に関するお問い合わせ先

出光興産株式会社	広報室 広報課	TEL：03（3213）3115
株式会社ジャパンエナジー	総務人事部(広報担当)	TEL：03（5573）6100

中京地区の両社製油所の概要

1. 出光興産株式会社 愛知製油所

- (1) 所在地：愛知県知多市南浜町1番地
- (2) 所長：新村 和利
- (3) 敷地面積：約207万㎡（63万坪）
- (4) 操業開始時期：1975年10月
- (5) 原油処理能力：16万バレル／日
- (6) 主要生産品目：石油製品，石油化学製品(アクリル酸)
- (7) 貯油能力：[原油] 約190万KL，[製品] 約110万KL
- (8) 従業員数：340名（2007年3月末）

2. 株式会社ジャパンエナジー 知多製油所

- (1) 所在地：愛知県知多市北浜町25番地
- (2) 所長：松岡 純司
- (3) 敷地面積：約130万㎡（39万坪）
- (4) 操業開始時期：1973年10月
- (5) 原油処理能力：なし（2001年6月に原油処理を休止）
- (6) 主要生産品目：石油化学製品(パラキシレン・シクロヘキサン)，石油製品
- (7) 貯油能力：[原油] 約80万KL，[製品] 約100万KL
- (8) 従業員数：110名（2007年3月末）



両製油所の位置関係図